

令和3年度『詳説世界史 改訂版』（世B310）おもな変更箇所一覧

ページ	行	令和2年度	令和3年度	備考
48	図版 キャプション	キリスト教徒が <u>迫害を逃れてひそかに礼拝する場所</u> としても <u>もちいられていた</u> 。	キリスト教徒が礼拝を <u>おこなう場所</u> としても <u>もちいられた</u> 。	より正確な表現に変更（カタコンベはキリスト教徒への迫害以前から存在し、またキリスト教徒以外のカタコンベも存在したため）
131 ～ 132	28 ～ 5	神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世（※下ルビ：在位 1084～1105）はこれに反発し、教皇と皇帝とのあいだで <u>叙任権闘争</u> が始まった。 <u>皇帝</u> は改革を無視しようとしたため、…（中略）…破門解除がなければ <u>皇帝</u> を廃位すると決議したため、1077年 <u>皇帝</u> はイタリアのカノッサで教皇に謝罪し許された（ <u>カノッサの屈辱</u> ）。	<u>ドイツ国王（のち神聖ローマ皇帝）ハインリヒ4世（※下ルビ：国王在位 1056～1105，皇帝在位 1084～1105）</u> はこれに反発し、 <u>ここから教皇と国王（皇帝）とのあいだで叙任権闘争が始まった</u> 。 <u>ハインリヒ</u> は改革を無視しようとしたため、…（中略）…破門解除がなければ <u>国王</u> を廃位すると決議したため、1077年 <u>ハインリヒ</u> はイタリアのカノッサで教皇に謝罪し許された（ <u>カノッサの屈辱</u> ）。	より正確な表現に変更（ハインリヒ4世は「カノッサの屈辱」時点ではまだ神聖ローマ皇帝には即位していなかったため、区別する形に変更）
165	9	また活字印刷術も発明された。	また活字による印刷方法も発明された。	よりわかりやすい表現に変更
226	史料	6. 議会の同意なく、平時に常備軍を徴募し維持することは、法に反する。	6. 議会の同意なく、平時に <u>国内で</u> 常備軍を徴募し維持することは、法に反する。	より正確な表現に変更
340	地図 凡例	⑤チロル	⑤ <u>南</u> チロル	より正確な表現に変更
343	11～12	イタリアは戦勝国であったが領土拡大を実現できず、	イタリアは戦勝国であったが <u>期待した</u> 領土拡大を実現できず、	より正確な表現に変更
364	地図	ナチス＝ドイツの領土拡大 ダンツィヒ自由市周辺の「ミュンヘン会談以後第二次世界大戦勃発まで」の網掛けを削除、ラインラントの非武装地帯を示す境界線を東方へずらす形に変更		より正確な表現に変更
364	1～2	東半の <u>スロヴァキア</u> を保護国に	東半 <u>分</u> の <u>スロヴァキア</u> を保護国に	よりわかりやすい表現に変更
372	1～4	1945年4～6月、 <u>連合国50カ国</u> が参加した <u>サンフランシスコ会議</u> で正式に採択され、同年10月に <u>国際連合</u> が発足した①。	1945年4～6月の <u>サンフランシスコ会議</u> で正式に採択され、同年10月に <u>51カ国</u> を <u>原加盟国</u> として <u>国際連合</u> が発足した①。	よりわかりやすい表現に変更（国際連合の原加盟国数を記載する形に変更）
385	27	ムバラク 1928～（在任1981～2011）	ムバラク 1928～ <u>2020</u> （在任1981～2011）	
387	1	発展途上国 <u>71</u> カ国が国連貿易開発会議	発展途上国 <u>77</u> カ国が国連貿易開発会議	誤記
396	16	中曽根康弘 1918～（在任 1982～87）	中曽根康弘 1918～ <u>2019</u> （在任 1982～87）	
402	地図	ヨーロッパ統合の歩み 「北マケドニア」へ名称を変更、イギリスのEU離脱を凡例に補足		
404	16	李登輝 1923～（在任 1988～2000）	李登輝 1923～ <u>2020</u> （在任 1988～2000）	
410	8	物質の <u>最小単位</u> が原子・陽子・中性子などからなることが解明された	物質が原子・陽子・中性子などからなることが解明された	より正確な表現に変更